

日本フンボルト協会 2023年度第4回常務理事会議事録

日時：3月30日（土）14時から17時まで（Zoom オンラインによる）
出席：縣 副理事長、高山 副理事長、伏木先生（副理事長、関西支部長）、井田先生（関東甲信越支部長）、香田先生、岡林先生、坂越先生（中四国支部長）、須田先生（東北支部長）、高橋宗五先生、高橋義人先生、武内先生（九州支部長）、種村先生、鏝田先生、和田先生（中部支部長）、広渡先生（顧問）
事務局 関映子

（1）2023年度総会について 時間配分の検討

日時：6月8日（土）ハイブリッドで開催予定
会場：OAG 会議室
プログラム 13:15 – 14:00 常務理事、理事会
14:00 – 14:50 会員事務協議
15:00 – 16:00 講演会

講演者：稲垣史生（2023年シーボルト賞受賞）

題目：『地球システム変動に対する総合知の重要性について』

所属：国立研究開発法人海洋研究開発機構・東北大学世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）変動海洋エコシステム高等研究所（AIMEC）副研究所長・教授・上席研究員
要旨：約46億年前から現在に至るまで、地球は多くの気候・環境変動を経験し、生命もまた、それらの変動に適応・進化することで幾多の絶滅の危機を乗り越えてきた。そして現在、地球温暖化や海洋酸性化、極域の氷床融解、生物多様性の損失等が顕在化し、局所的な異常気象が多発する現象や、淡水や食料資源の枯渇、人や動植物における疫病の蔓延など、地球システムを構成するあらゆるサブシステムが連鎖反応を起こしはじめている。本講演会では、人間の時代「人新世」における地球システム変動の一端を紹介しつつ、将来の持続可能性の創出に向けた総合知の重要性について議論したい。

16:15 – 18:00 懇親会 ドイツ文化会館1階 レストラン Mahlzeit

（2）ドイツ研究留学説明会開催（3月16日（土））について（鏝田先生）

説明会当日の参加者は110名。

フォローアッププログラムについて

全体説明会の録画（1時間10分）をYouTubeに掲載しました。<https://youtu.be/Q4dXjQO7yXU>

14:30-15:45 全体説明会

* (14:30-15:00) DAAD 奨学金（博士向け研究奨学金）についての説明

* (15:00-15:45) フンボルト奨学金およびフォローアッププログラムについての説明

16:00-18:00 専門別分科会

人文科学分科会（フンボルト）

社会科学分科会（フンボルト）

理工学分科会（フンボルト）

生命科学分科会（フンボルト）

医学分科会（フンボルト）

≪個別相談（フンボルト）≫

★DAAD 分科会

18:00-19:00 子育て家族分科会

（3）日独共同研究奨学金（2024年度）について（事務局）

* 現在4件の応募が届いています。文系2件 理系2件

→その後、文系3件、理系3件となりました。

2024年3月31日 申請書類締切
2024年5月末 選考
2024年6月 助成対象者公表
2024年9月-2025年8月 助成対象期間
2025年10月末 研究報告書提出

(4) 日独共同研究奨学金基金と財政化安定基金について ===== (資料1)

* 奨学金基金について (縣先生)

2023 年度奨学金として 3 件分 1,500,000 円支払い

現在の残高 5,471,696 円

* 財政安定化基金について (高橋宗五先生) 現在の残高 2,031,078 円

(5) 2023 年度の会計収支について (高橋宗五先生) ===== (資料2)

* 年会費の支払い率 485 口 (1,368 人のうち) **35 パーセント**

* 年会費の件 長期未払い者の扱いについては、次年度に検討予定

(登録が現在 1368 名)

・日本フンボルト協会設立の 2013 年度当初からの未払いの会員 449 名

(うちメールのない人 108 名)

・2013 年度のみ支払い 30 名・2014 年度のみ 15 名・2015 年度のみ 15 名

・名誉会員 22 名

➤ 東北支部では集金努力している。

➤ フンボルト協会の研究助成を受けながら会費未払いの会員もいる。「活動は皆さんの会費によって支えられています」といった文言をこまめに示し、啓発する。

(6) 支部活動報告と次年度の予定 (各支部長)

➤ 北海道支部：2023 年 7 月 8 日(土)15 時開催の David Wolff 先生 (北大) の Humboldt-Forschungspreis (フンボルト賞) 受賞記念講演会 (日本フンボルト協会主催講演会) を支援した。2023 年 9 月 23 日 (土) 15:00 から、千歳科学技術大学のオラフ・カートハウス会員によるハイブリッド講演会を北海道大学で行いました。講演のタイトルは、「「マイクロプラスチック」は新しい環境問題ですか？」でした。

講演会に引き続き、支部総会をハイブリッドで行い、支部総会後に懇親会を行いました。支部の会計で残金は、87,665 円です。つきましては、来年度の支部支援金の申請予定はございません。

➤ 関東支部：講演会と留学説明会を開催。5 月 25 日に講演会を開催予定。

➤ 関西支部：総会と講演会を開催。盛会であった。

➤ 中国四国：教育学会と連携。支援助成 100,000 円決定。

➤ 九州：4 月か 5 月に対面で総会と講演会開催予定。前年度からの予算残額があるので、新たな申請をしない。

(7) フンボルトホームページ修正概要 (種村先生) ===== (資料3)

➤ HP に「留学説明会」のページを新たに作成。

➤ 支部活動の紹介は 2 支部しか HP がないので充実に協力してほしい。

➤ HP の維持費 (約 4 万円) は毎年必要なので、一般会計に項目立てして経常経費として計上する。

➤ HP の資金としての「特別会計」の残高が 115,683 円になっている。AvH に助成依頼をするという案もあるが期待薄。むしろリニューアルするという理由で一回限りの助成を申請する。

(8) その他

* Zoom 講演会のご報告 (縣先生) 2024 年 1 月 13 日 (土) 16 時から 18 時にオンラインで開催
第一回 医学・生命科学の大変革

「ChatGPT に代表される生成 AI の社会的影響を考える」

(講演者) 清田純氏 (理化学研究所)、鈴木晶子教授 (京都大学名誉教授)

(司会) 西川伸一先生 申し込み 99 人、当日参加は 65 名でした。

* 今後の Zoom 講演会の開催予定について (縣先生)

第二回 医学・生命科学の大変革 5 月 11 日 (土) 15 時半より開催予定

テーマ: 「人間の教育、学習と LLM の関係について」(仮題)

(司会) 西川伸一先生

(講演者) *熊谷 誠慈先生 「京都大学 人と社会の未来研究院」准教授
専門は仏教学 (インド・チベット・ブータン)
*鈴木晶子先生 京都大学名誉教授

*浅田先生を偲ぶ会ご報告 (高山先生より)

2024年3月2日(土) 京都のリーガロイヤルホテルにて開催された。
事務局として関映子が参加した。
伏木先生と高山先生も参加して、ご挨拶を述べられました。

*次回の常務理事会日程について 6月8日(土) 総会事務協議前 開催

～～～DAAD 東京よりお知らせ～～～

【ドイツ研究フェア (オンライン) 4/11-12】

DAAD 東京主催、オンライン開催の「ドイツ研究フェア」に参加して、大学や研究機関、助成機関の担当者と直接話してみませんか？事前登録が必要です。詳細は以下を参照。ドイツで研究したい方必見です。<https://www.daad.jp/ja/event/grf2024/>

【欧州留学フェア (EHEF) 6/15-16】

駐日欧州連合 (EU) 代表部主催で、ヨーロッパ高等教育の魅力を伝えるため、2012年より開催されており、13回目を迎える今年は、ドイツからは8大学・3機関が参加予定です。15日の東京会場が法政大学で、16日の京都会場は同志社大学です。事前申し込みが必要です。以下のサイトご参照ください。<https://ehf-japan.org/>

(以上です)